

3年次前期・選択

1単位・15時間

【概要・目的】

本科目は、薬理学各論として、疾病の予防・診断・治療に用いられている薬物の適切な臨床使用を補助することができるようになるために、代表的な薬物の効果と有害作用、薬としての位置づけを理解することを目的とする。

【到達目標】

- 1) 中枢神経に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用が理解できる。
 - 2) 末梢神経に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用が理解できる。
 - 3) 心臓・血管系に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用が理解できる。
 - 4) 呼吸器・消化器・物質代謝に作用する薬物の薬理作用、作用機序、副作用が理解できる。
 - 5) 消毒薬、(救急の際に使用される薬物)の種類と使用方法が理解できる
-

【内容・スケジュール】

薬理学各論

- 1) ~ 2) 中枢神経に作用する薬物
 - 3) 末梢神経系に作用する薬物
 - 4) ~ 6) 心臓・血管系に作用する薬物
 - 7) 呼吸器・消化器・物質代謝に作用する薬物
 - 8) 消毒薬、(救急の際に使用される薬物)
-

【評価】

筆記試験 (85%)、出席状況および参加態度など (15%)

【教科書】

吉岡充弘 他：系統看護学講座「薬理学」医学書院

【推薦参考図書】

- 田中千賀子 他：「NEW 薬理学」南江堂
野元正弘 他：「薬がみえる vol.1」Medic Media
弘世貴久 他：「薬がみえる vol.2」Medic Media
福本陽平 他：「薬がみえる vol.3」Medic Media
-

【その他】

メールアドレス tomoen@wakayama-med.ac.jp